

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27年 3月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200309
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム陽だまり日輪荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬2丁目29-37 (電話) 0995-55-0700
自己評価作成日	2014年12月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年12月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入所者様 御一人おひとりが、安心して穏やかに和気あいあいと過ごされ季節の催し物への参加や活動を通して地域の方々とも交流も出来ています。関連事業所等との合同の活動や地域のひろば場への参加などご本人様の思いを大切に個別に参加できるように努めながらそれぞれの出来る範囲で提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは市街地の閑静な住宅地の一角に設立されている。近くには母体で協力医療機関でもあるクリニック、デイサービスセンター(2事業所)が併設され、相互に連携、協力し合える体制が構築されており、職員会議や研修会、防災対策などは法人全体で取り組んでいる。広い園庭やウッドデッキがあり、利用者は四季を感じながら日光浴や散歩を楽しんでいる。

○ホームは開設以来積極的に地域との交流を図り、散歩や外出時の地域住民との会話やボランティア及び友人知人達の来訪による交流が日常的に円滑に行われ、利用者の楽しみとなっている。法人全体で実施する「地域還元感謝祭」は、地域の誰でも参加できるように施設を開放して見学等に対応すると共に、高齢者福祉に関する研修や楽しいイベント等も実施して利用者や住民が楽しみながら交流を深める機会となっている。また、管理者は、市から高齢者福祉の「ライフサポートワーカー」の任命を受けて地域の拠点活動等にも従事しており、地域や行政、医療その他多くの機関との連携して、認知症サポート体制の構築に取り組んでいる。

○管理者及び職員は、利用者が住み慣れた地域の中で家族や友人知人と関わり合いながら、その人らしく穏やかな生活が過ごせるように、利用者の尊厳を大切に気持ちに沿ったきめ細かな支援に日々努めている。協力医療機関との連携も日々、密に行われており利用者及び家族の安心とホームへの信頼は厚いものとなっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念と運営方針についてはいつでも確認できるように事務所、玄関に掲示し 各スタッフいつでも確認できるように名札に携帯して理念にそったケアが、出来るように努めています。	開設時に作成したホーム独自の理念は、運営方針と共に玄関及び事務所に掲示し、また名札の裏にも明記して日常的に認識と共有を図っている。月1回開催の「定例会」や「業務改善会」での研修の実施や、朝夕の申し送り時に随時理念の意義を振り返る等、理念の理解とより良いケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の散歩や地域のひろば活動を通じて近隣の方々とのかかわりや会話が出来る関係性が築け夏祭りや地域の避難訓練等に参加させて頂いている。	夏祭りや避難訓練等、地域の行事に積極的に参加している。また施設で実施する敬老会等にご家族や地域住民の方々に参加して頂いたり、中・高校生の職場体験やサマーボランティア、地域住民の踊り、音楽療法のボランティア等を積極的に受け入れて交流を図っている。年1回法人全体で開催する「地域還元感謝祭」は、地域住民に施設を開放し、併せて介護に関する研修会や味噌づくり等のイベントも実施して交流を一層深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域のひろば事業の実践や地域中学生の職場体験や高校生のサマーボランティア等も実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議題についてのご意見や助言を、実際に地域の方々に推進会議に参加して頂いたり改善策をスタッフを交え話しサービスの向上に取り組んで改善に努めています。	会議は家族、地域住民、行政、民生委員等の参加を得て、定期的に開催されている。ホームの現況や行事・改善への取り組み状況、外部評価の結果等の報告がなされると共に、委員からは災害時の避難やケアに関する質問や意見等が活発に出されており、内容は職員にも十分に周知が図られて、具体的に家族や地域との交流や日々のサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進会議に参加して頂き、協力支援を頂いたり、ライフサポート・拠点活用等での繋がりを通じて連携が図れてきていますが、今後も密に連携を図り関係の構築に努めます。</p>	<p>市担当者には運営推進会議に出席して頂くとともに、現況報告や各種の手続きに関する事及び施設の運営やケアに関する相談や意見交換を行うなど協働関係が築かれている。また、管理者は「ライフサポートワーカー」を任命されており、地域の高齢者福祉の拠点活用等での連携も深く、これらを利用者のサービス向上に反映させている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所全体で、身体拘束委員会を2ヶ月に1回実施して、資料の配布や研修を開催・身体拘束廃止マニュアルの周知に努め身体拘束を必要としないケアに取り組んでいます。</p>	<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修を「身体拘束排除マニュアル」を基に法人全体で実施し、またホーム独自でも「業務改善会」や朝夕の申し送り時に積極的に議題にして理解を深めている。日々の支援の中で、身体や言葉による拘束を行わないように職員相互で喚起しあってケアの質の向上に努めており、外出したがる利用者には、同行して近隣の散歩やドライブで安定を図る等、利用者の気持ちを大切にしたい暮らしの支援に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止委員会を2ヶ月に1回開催し勉強会や資料配布等定期的実施して虐待に繋がる不適切ケアの無いケアに取り組んでいます。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>資料配布、資料研修を法人内で実施 外部より講師に来て頂き研修も実施できています。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	説明後、疑問点を詳しく説明させて頂き納得と同意の上で契約を締結させて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月の活動報告の送付の継続、アンケートの実施、いつでも要望を言ってくれる日頃の関係作りに努めております。	利用者の思いや意見は声かけや所作の見守り等で把握に努めるとともにご家族とは主に来訪時の対話や電話等で、話しやすい雰囲気作りを図り意見を頂くようにしている。それらは申し送りや毎月の業務改善会で内容を共有し、対応を十分に話し合っ改善に努めており、結果は速やかに本人や家族に報告してケアへの反映に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月代表者等出席の定例会、各委員会への出席、ミーティング・カンファレンスを通してお互いの意見を検討し業務に反映している。	職員の意見や要望等は、「業務改善会」や日常のケアの中及び申し送り時等に、また内容によっては職員個々に合わせた声かけも行う等、話しやすい雰囲気作りに努めて把握し、管理者はこれらを業務改善や利用者へのサービス向上に反映できるように取り組んでいる。特にケアに関することは、職員の意見を十分聞き取り、職員全員で検討して、質や意欲の向上に繋がるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員の目標を把握してスキルアップに繋げるように努めています。本年度よりケアスキルマイスター認定制度を開始しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内、施設外の研修の参加を通して学んだ事を共有する事で、質の高いケアに繋がる事を理解し研修へ参加できるように努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連合会・協議会の加入と研修をライフサポートを通して情報交換に活用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のご本人様との面談を通して悩み等を傾聴する事で、信頼関係を築ける様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来訪時、電話等でコミュニケーションを取らせて頂きご家族の悩み不安を何時でも話して頂ける信頼関係が築ける様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な限り入居者様のニーズに合ったケアが、見極められる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のそれぞれの出来る範囲で、職員を交え生活活動や会話を通して関係が築ける様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員とご家族で常に話し合い協力して入居者様の思いを大切に努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居者様・ご家族様の話を傾聴して、馴染みの地域の方等と関係が途切れないように季節の行事の時など帰宅出来る様にご家族の協力を頂き実現出来るように努めています。</p>	<p>利用前に本人や家族から、生活歴、病歴、地域の人との交流状況、趣味、嗜好等の聞き取りを行い、個人台帳に記載して情報を共有しており、本人の希望に沿って行事への参加や買い物、墓参り、温泉入浴、一時帰宅等、馴染みの人や場との関係継続に家族と連携して支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>各活動を通して交流を図られたり生活活動、食事中など自発的に会話をされています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>体制としては整っていませんが、来訪されたり電話等の交流は続いております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各活動や生活のなかで、希望・意欲を尊重し出来るだけ意向に沿えるように努めています。	職員は日頃の利用者の表情や言動、またご家族からの情報を基にして、思いや意向をくみ取るように努めている。申し送りや「共同生活介護記録」「申し送りノート」等で情報の共有を図り、家族とも相談しながら、利用者にとってよりよい支援となるようにケアプランにも反映させて日々改善に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前アセスメントを実施すると共にご本人様とのコミュニケーションとご家族様からの情報の把握に努め馴染みの生活が、継続できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変わる体調に考慮しながら一人一人がにあった生活活動を実施出来るように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様、ご家族様、必要な関係者と話し合い、それぞれの思いを聞き意見交換を継続して、日々変わる現状に合ったケアを計画作成できるように努めています。	本人やご家族から希望や意向を聞き取り、主治医の意見や看護師及び職員の意見を反映させたわかりやすい介護計画「ライフサポートプラン」を作成している。また、随時ケアの経過の評価を行い実状に対応したケアについて話し合う等、利用者がより良く暮らせるように適切に見直しや修正を行って改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録の活用と申し送りを通して職員が把握、周知している事を介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時生まれるニーズを把握して関連事業と連携を図りながらニーズに出来るだけ答えられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方々との交流や馴染みの方々友人が、気軽に訪問できる環境作り楽しく活動できるように支援に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時かかりつけ医の確認と連携体制の確認、緊急時の対応についてもご家族様の確認・理解を取り理解をえて医療関係との連携を図り支援しています。	母体医療機関をかかりつけ医としている利用者が多いが、本人・家族が希望する医療機関を受診できるように支援しており、通院は看護師及び家族が同行している。医療に関する情報は介護とは別の申し送りノートに記録して情報の共有を図り、ご家族との連携も適切に行っている。また、管理者は毎日協力医療機関を訪ねて、その日の利用者全員の体調等を細かに報告を行い、医師の指示や指導等を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師による健康状態の把握と毎日のかかりつけ医への報告の継続により必要な治療が、受けられるように努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の情報提供により入院までの経過や、内服・緊急連絡の情報の共有に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>マニュアル等の整備は継続して実施しておりますが、書類・体制は整っていない。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、利用開始時にホームの方針を説明して理解を得ている。重度化した時点で、家族の希望や主治医及び職員の意見等を参考に十分話し合いを実施して対応している。これまで2例の看取りの実績があり、家族からの感謝の言葉を受け、より質の高いケアの実現に向けて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員が応急手当の講習に参加し迅速な対応が出来るように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練の実施や事業所全体の防災委員会を通してマニュアルの周知に努めています。地域の方々との連携が図れるように地域の応急手当講座や避難訓練に参加させて頂いています。	消防署との連携により年2回、主に火災を想定した避難・消火・通報訓練を実施しており、また、早朝や夕方、夜間等を想定した自主訓練を地域住民も参加して年3～4回実施し、避難経路確認や消火器等の取扱い方法も研修している。地域主催の応急手当講座や避難訓練にも積極的に参加しており、職員の防災に対する意識は高い。スプリンクラーや自動通報装置等の設備も充実し、食料品や関連備品（卓上コンロ、懐中電灯等）の整備にも十分に配慮がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	施設内研修等で学び常に人格とプライバシーを尊重した対応に心がけています。	接遇や個人情報保護等に関する研修の充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に日常的に努めている。排泄や入浴時、居室の保護などにも誇りやプライバシーの確保に配慮がなされ、利用者一人一人がその人らしく平穏に暮らせるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が、いつでも思いや希望を表現でき自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれのペースに合わせて希望に沿った生活が、出来るよう体調を考慮させて頂きながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者様の好みをお聞きして自己決定できるように努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	体調、食事制限等を考慮したうえで、嗜好を可能な限りお聞きして楽しみの一つとなるように心掛けています。	利用者の嗜好、食事形態、疾病や服用中の薬との影響等を十分に把握して、利用者の希望も取り入れながら差し入れの野菜や利用者が菜園で収穫した野菜も活用した食事づくりに努めている。誕生会やおせち、敬老会等の行事食、弁当持参の花見、ウッドデッキでの西瓜割り等、食事を楽しくするように工夫しており、年末の餅つきや年2回の味噌づくり、日常の食材の下ごしらえ、下膳等は利用者も一緒に楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事量のチェックを行い栄養バランスを把握し体調管理に活用しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと食前のうがいの実施と夜間帯の洗浄剤の対応に心掛けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中、夜間帯の排泄パターンをチェックし個別の対応に心掛けています。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように、排泄チェック表を活用して利用者個々のパターンを把握し、不安や羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援しており、入所後にかなりの改善が図られている。利用者の状態に応じた適切な支援になるように十分に話し合い、ケアプランにも組み込んで実践に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表の活用と食事内容と運動・体操等で排泄を促しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調を考慮しての声掛けを、中心に希望に応じて入浴や入浴剤を楽しんで頂いています。	利用者の体調や希望に配慮しながら、時には清拭やシャワー浴も含めて週に3～4回の入浴を支援している。入浴に不安を訴えたり拒否される場合には、無理強いしないで、声掛けの方法や時間、職員の変更など工夫して入浴への意欲を高めるようにしている。同性の介助希望、好みのシャンプー、入浴剤の使用等、利用者の気持ちを大切に支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの休息パターンに添って各自ゆっくり出来る場所で休まれそれぞれのタイミングで眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬の受診時 看護師の服薬確認確認後のセットの実施 内服薬一覧表による確認・把握し支援に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事仕事を出来る範囲での実施 季節に添った行事や行事食の料理や会食で、気分転換をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物・ドライブ・散歩と希望に添い対応出来ています、又全員ではないですが、ご家族様との外出についても実施出来ています。	利用者の健康状態や天候を考慮しながら、近隣の散歩、買い物、ドライブ、園庭やウッドデッキでの日光浴等を日常的に楽しんで頂いている。また利用者の希望を確認しながら、温泉入浴や外食、墓参り等の外出を家族と連携して積極的に行って地域の人と交流するなど、外出が楽しみなものになるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理については預り金として管理させて頂いています。必要に応じて一緒に外出し買い物をさせて頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	季節の挨拶状については、季節に合わせて取り組んでいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた壁画や作品の展示や季節の花を飾り季節を感じて頂いております。	広い敷地には花壇や菜園も配置され多くの季節の花や野菜が栽培されていて、利用者は四季を感じながら散歩や収穫を楽しんでいる。リビングはゆったりと明るく、テーブルセットや畳のスペースが配置されており、好みの場所で自由に寛げる工夫がなされている。室温や換気にも十分配慮されて、不快に感じる音や臭い等もなく清潔に整頓されている。随所に利用者の作品や写真、季節感のある人形や置物等が飾られ、和やかで居心地の良い雰囲気づくりの工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれのお気に入りの場所で、思い思いに過ごして頂き、入居者様どうが、楽しく交流が持てるように工夫・配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具などを使って頂き落ちついて安心して過ごして頂ける努めています。	各居室に電動ベッド、エアコン、整理用タンスが備えてあるが、本人やご家族の希望により家族写真、使い慣れた小物、趣味の道具、置物等を自由に持ち込んで頂き、その人らしく好みに応じた配置をされるなど、家庭と同様に落ち着いて過ごせるような居室づくりを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居前からのアセスや入居後の生活のリズムに合わせて出来る事を出来る範囲で自立した生活が送れるように努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない